読者各位

株式会社サイエンティスト社

このたびは、「人間ドック健診専門医試験問題集 2022 年改訂版」をご購入いただき誠にありがとうございます。本書におきまして以下の誤りがございましたので、ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

正誤表

該当頁	誤	正
51 頁 4. 「内分泌・代謝」 問題 30 問題文	成人ヘテロ接合体型家族性高コレステロール血症の診断基準について <u>誤っている</u> のはどれか。2つ選べ。	成人ヘテロ接合体型家族性高コレステロール血症の診断基準について <u>正しい</u> のはどれか。1つ選べ。
52 頁 4. 「内分泌・代謝」 問題 34 問題文	定期健診の採血を昼食後に実施した結果 TC287mg/dL, TG680mg/dL, HDL-C26mg/dL であった。 評価方法について正しいのはどれか。1つ選べ。	定期健診の採血を昼食後に実施した結果 TC287mg/dL, TG680mg/dL, HDL-C26mg/dL であった。 <u>『動脈硬化性疾患予防ガイドライン』に準拠した</u> 評価方法について正しいのはどれか。1つ選べ。
85 頁 10. 「婦人科系がん」 問題 5 解答選択肢	(c) 妊婦の細胞採取器具はブラシが望ましい	(c) <u>細胞採取器具はブラシが望ましいが、妊婦への使用時は取り扱い説明書を確認すること。</u>
136 頁 2. 「循環器」 問題 17 解説文	<u>心不全には、左室駆出率 (LVEF) が低下した心不全 (heart failure with reduced ejection fraction : HFrEF) と LVEF の保たれた心不全 (heart failure with preserved ejection fraction : HFpEF) がある。心不全の原因疾患は多岐にわたるが日本のデータでは、入院した心不全患者の原因疾患として多いものは、虚血性心疾患、高血圧、弁膜症である。HFpEF については原因疾患として高血圧の占める割合が高いと考えられている。高血圧治療は心不全発症を予防し、生命予後の延長につながる。降圧薬の中ではサイアザイド</u>	<u>成人大動脈弁狭窄症 (aortic valve stenosis : AS) の治療には大動脈弁置換術 (aortic valv replacement : AVR) , 経皮的動脈弁形成術 (percutaneous transcatheter aortic valvuloplasty : PTAV) , 経カテーテル大動脈弁植込術 (transcatheter aortic valve implantation : TAVI) の選択が可能である。</u> 第一選択の治療は AVR である。 (以下略)

	<p><u>系利尿薬は心不全の発症予防効果が高い。血圧のコントロールのために体重や血圧の在宅レベルの患者モニタリングは重要であるが、これのみでは予防とはならない。</u></p> <p>第一選択の治療は AVR である。 (以下略)</p>	
<p>165 頁 4. 「内分泌・代謝」 問題 30 解答・解説文</p>	<p>(a) (c)</p>	<p>(d)</p>
<p>165 頁 4. 「内分泌・代謝」 問題 30 解説文 (解説文の追加)</p>	<p>・・・・・・・・早発性冠動脈疾患は男性 55 歳未満、女性 65 歳未満と定義すると追記されている。 参考文献：日本動脈硬化学会『動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017 年版』</p>	<p>・・・・・・・・早発性冠動脈疾患は男性 55 歳未満、女性 65 歳未満と定義すると追記されている。<u>2022 年 7 月に同ガイドラインが新たに改訂され、その診断基準も変更された。新たな日本動脈硬化学会『動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版』において、前述の診断基準①および②は変更なく、③家族性高コレステロール血症あるいは早発性冠動脈疾患の家族歴は“第一度近親者”とされた。また、アキレス腱肥厚は X 線撮影により男性 8.0mm 以上、女性 7.5mm 以上、あるいは超音波により男性 6.0mm 以上、女性 5.5mm 以上にて診断する。</u> <u>と改訂された。その他皮膚結節性黄色腫に眼瞼黄色腫は含まないこと、早発性冠動脈疾患の基準年齢は変更なかった。</u></p> <p>参考文献：日本動脈硬化学会『動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版』</p>